

一人一人が生き生きと活動する  
明るく楽しい学校



# かいどい



学校だより令和3年度 第7号

令和3年9月30日

<http://schit.net/tama/eskaidori>

多摩市立貝取小学校  
校長 小川 貴史

## 運動会について

校長 小川 貴史

コスモスが咲き、金木犀が香る秋らしく過ごしやすい季節となりましたが、新型コロナウイルス感染症については未だ予断を許さない状況にあります。これまでも子供たちの安心・安全のために各ご家庭で朝夕の検温をはじめ、うがい手洗いなど、感染予防にご協力いただきありがとうございます。引き続きご協力いただきますようお願いいたします。



さて、10月9日は運動会です。新型コロナウイルスの感染予防を第一に考え、今年度は午前中の開催とし、「徒競走と表現の演技」の発表で、低・中・高のブロックごとの入れ替え制での実施とするなど、制約の多い中での参観となりますが、保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。詳しくは、学年便りや学校からの運動会のお知らせ、プログラムなどでご確認ください。

学校では、子供たちの練習にも熱がこもってきました。子供たちが汗をいっぱいかき、歯を食いしばって練習する姿、本番で一生懸命がんばる姿を見ると、いつも涙が出そうになります。このような感動は、子供たちのひたむきな姿から生まれるものです。

徒競走では、必ず勝者と敗者ができます。勝つことをめざして必死にがんばることは、最も大事なことです。負けた悔しさに涙が出てくるくらいに、気持ちをこめて全力でがんばってほしいと思います。でも、大事なことは、勝っても負けても全力を尽くすことです。

この運動会を通して、「**がんばることは素晴らしいことだ**」「**負けても失敗しても、最後までがんばる姿はカッコいい**」、そんな気持ちを子供たちにもたせたいと願っています。苦しくてもがんばったことを認めてもらえた子供は、達成感を感じます。達成感とは、自信や意欲につながります。そして、自信や意欲を持った子供は、また次の活動で一生懸命がんばり、また達成感をもたらします。達成感 → 自信 → 意欲 → 達成感 …… というサイクルを経ることで、子供たちは成長します。

このように、運動会は、子供たちの心根を深くし、心の中の土を耕し、肥料を与え、成長させる絶好の機会です。

コロナ禍の状況で、規制の多い中での開催となりますが、保護者の皆様に子供たちの精一杯の演技を見に来ていただき、温かい励ましの拍手をお願いいたします。そして、当日、疲れて家へ帰ったお子さんに対して、最大限のほめ言葉をかけてやってください。どうぞよろしくをお願いいたします。